

内科

消化器内科

病棟 東病棟 15F

外来 外来診療棟C 2F 連絡先 022-717-7731 (外来)

ホームページ <http://www.gastroente.med.tohoku.ac.jp/>



科長
正宗 淳 教授

主な対象疾患

- 早期食道癌
- 炎症性腸疾患
- 膵癌
- 早期胃癌
- ウイルス性肝炎
- 膵炎
- 胃食道逆流症
- 肝癌
- 胆道癌
- 大腸ポリープ
- 非アルコール性脂肪性肝炎
- 胆石
- 早期大腸癌

診療内容

消化器内科は上部消化管、下部消化管、肝臓、膵・胆道の4診療グループで構成され、各診療グループでは専門医・指導医を中心に経験豊富な多くの医師が診療に従事しており、安全で良質な医療を提供できる体制を整えています。

上部消化管疾患：胃・食道早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、内視鏡的静脈瘤硬化療法等の内視鏡治療を中心に診療を行っています。また、胃食道逆流症、バレット食道、機能性ディスペプシアなどについても専門性を活かし、診療にあたっています。

下部消化管疾患：炎症性腸疾患の寛解導入・維持療法の外、腫瘍性疾患のESD、カプセル内視鏡やバルーン付小腸内視鏡検査等による診療を行っています。

肝疾患：宮城県唯一の肝疾患診療連携拠点病院として、B型肝炎、C型肝炎に対する最新の抗ウイルス療法を行うとともに、肝癌に対するラジオ波焼灼療法や血管塞栓術、持続動注療法、分子標的薬などの集学的治療も行っております。急性肝不全・非代償性肝硬変に対しては移植・再建・内視鏡外科と連携して、肝移植を含めた治療を行っています。

膵・胆道疾患：感染性膵壊死に対する内視鏡的ネクロセクトミーなどの特殊治療、遺伝性膵炎をはじめとする膵炎の遺伝子解析、慢性膵炎に対する体外衝撃波結石破砕術、膵管ステントなどの内視鏡治療、充実性膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検細胞診(EUS-FNA)等による診療を行っています。また、総胆管結石・肝内結石除去、悪性胆道疾患に対する減黄目的のドレナージ、ステント挿入なども行っております。

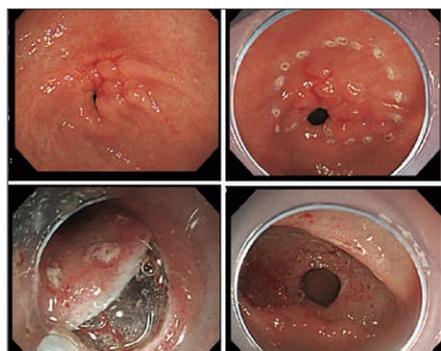


図1

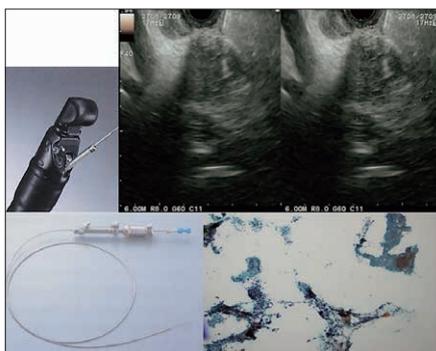


図2

診療体制

- 日本内科学会認定総合内科専門医 18名
- 日本消化器病学会認定消化器病専門医 30名
- 日本消化器病学会認定指導医 7名
- 日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医 20名
- 日本消化器内視鏡学会認定指導医 8名
- 日本肝臓学会認定肝臓専門医 7名
- 他、日本消化管学会認定胃腸科専門医、日本超音波医学会認定超音波専門医、日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医など

得意分野

- 上部消化管疾患：胃癌・食道癌に対する内視鏡治療、24時間pHインピーダンスモニタリングを含む胃食道逆流症の診療
- 下部消化管疾患：炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)の寛解導入および維持療法、大腸癌の内視鏡治療
- 肝疾患：C型肝炎・B型肝炎の抗ウイルス療法、非アルコール性脂肪性肝疾患の栄養療法、肝細胞癌のラジオ波焼灼療法および血管塞栓療法
- 膵・胆道疾患：急性膵炎および慢性膵炎の治療、遺伝子診断、EUS-FNAによる膵腫瘍の診断、総胆管結石の結石除去術、悪性胆道疾患の減黄療法(ドレナージ、ステント)、十二指腸狭窄に対するステント治療

ご紹介いただく際の留意事項

■火・金の新患日は当科で新たに診療を希望される患者さんを主な対象とし、月曜日から金曜日までの各専門外来では、消化器各領域の患者さんを対象として、受診当日でも専門検査がある程度可能な体制をとっています(右表)。特に月、火、木曜日の上部消化管内視鏡外来に絶食(飲水可)にて直接患者さんを紹介していただければ、受診当日に内視鏡検査を施行し、治療方針などを決定しご報告いたします。また当院では、地域医療連携センター内に肝疾患相談室を設けており、一般の方や医療関係の方からの相談に対応しています。

消化器内科外来診療体制	診療曜日
新患外来	火・金
上部消化管外来	月・火・木
肝外来	火
大腸外来	水・金
膵胆道外来	木